

新年ご挨拶

会長 垣見祐二(大 25 期)

柑芦会の皆様へ

皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

近年、正月は実家のあった浜松市で過ごすことが多いのですが、昭和 30 年代、まだ少年だった頃の故郷での正月の風景をよく思い出します。玄関には簡単な松飾りが飾られ、父母も和服を着て、家族みなでおせち料理を囲み、食事を楽しんだものでした。父母は年始参りの対応等で忙しく、私はその頃は大勢いた近所の子供達と凧揚げなどで夕方まで遊びほうけ、特別感のあった三が日を過ごしました。



(イラスト 伊藤正章)

昭和、平成、令和と時代は移り、かつての正月の風情は少しずつ姿を変えました。同じように、私たちの同窓会も時代とともに姿が変わってきたことも確かですが、大正時代に始まり、百年近くの時を越えて続いてきた「世代を超えた同窓生のつながり」という価値は、これからも大切に継承していきたいと考えております。

皆様におかれましては、引き続き柑芦会活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様とご家族のご健康とご多幸、そしてますますのご活躍を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。